

西脇市と神戸芸術工科大学が就職支援 に関する連携協定を締結するに至った経緯

神戸芸術工科大学（以下「芸工大」という。）は、野口教授を中心とし、本市及び市内企業と産官学連携事業として、「播州織のブランド化」、地域活性化を目的とした「西脇プロジェクト」を10年以上の長期的なスパンで推し進めてきた。

また、実績として同プロジェクトに参加した学生等が、市内企業に就職するなど、本市と芸工大の教育及び研究とは強い連携関係にある。

今般、この関係をより一層発展させ、深化させるために、本協定を締結したいとのご提案を芸工大からいただき、本市にとって非常に有益なものと考えられるため締結するに至った。

現在本市が推し進めている「西脇ファッション都市構想事業」において、「人材育成」をテーマとする有能な人材の市内企業への就職支援に取り組んでおり、本協定を締結することにより、市内企業でのインターンシップに参加する学生数の増加が見込まれると同時に、芸工大が有している海外の著名なファッションユニバーシティとのコネクションを活用できることから、「播州織のブランド化」を図ることができると予想される。

これまでB to Bのビジネス構造で「生地売り・O E M生産」が主流であった産地の構造が、本協定の締結により同じB to Bのビジネス構造でも「製品売り・O D M生産」にシフトしていくことが期待でき、産元商社の販路開拓に一役買うことができるのではないかと考えられる。

また、芸工大はファッションに関連する学科以外に、インテリアやプロダクトに関連する学科も有しており、繊維産業に限らず、釣針等のものづくりに携わる市内企業への就職者数の増加も見込まれる。

以上の理由から、本協定は本市にとって非常に有益なものであると考えられ、人口流入の促進及び流出の阻止を図れることから、締結するに至った。